



(左) 製造ソリューション事業部 CAE ソリューション技術部 エンジニアリンググループ シニアコンサルタント

島村覚智 様 (2006年度 固体2級 合格)

(右) 製造ソリューション事業部 CAE ソリューション技術部長

吉田夕貴夫 様

現在ご担当のお仕事について教えてください。

島村: 製造業の企業様向けに、CAE ツールの提供と技術コンサルティングを行っています。「こんな解析をしたいのだけど、どうしたらいい?」「この課題を解決するためには、設計プロセスをどう変えるべきか?」という声にお応えし、解決策をご提案しています。

合格なさて、ご自身に何か変化はありましたか?

島村: コンサルタントは、お客様と相談しながら課題解決への方向性を示すのが仕事です。つまりお客様が既に認識されている課題だけでなく、潜在的な課題を含めた視点で語る必要があります。今回、試験対策として勉強したことで、お客様にご説明する時に自信を持って話すことが出来るようになりました。

吉田: 「本当にこの解析で正しいのか否か」という判断の根幹にあるのは、やはり個人の経験の凝縮だと思います。今回の試験対策でそれがレベルアップし、自信に繋がったのでしょうか。

試験対策として、どのような学習を行いましたか?

島村: 試験の1年ほど前から、通勤時間を利用して過去問に目を通しました。また業務終了後には、有志が集まって不定期に勉強会を行いました。進め方は、まず30分ほど全員で問題集を解いて採点。その後、既に1級を取得している社員に講師

をお願いして、解答率が悪い問題の解説をして貰いました。全部で所要時間は1~2時間です。試験直前は毎日やっていましたね。

毎日! すごい熱意ですね。

島村: 多い時には20人近く集まりますよ。

吉田: 部署の発足当初から受け継がれている「CAE エンジニアとしてスタンダードな技術を身に付けねば!」という強い思いの表れが、この勉強会なのだと思います。入社2~3年目の若い社員が中心になり、現在も続いていますよ。私たちの持つ「技術に対する貪欲さ」に、計算力学技術者資格がうまくマッチしているのでしょうか。

計算力学技術者資格の取得を目指す社員に対し、会社としてどのような支援をなさっていますか?

吉田: 部署全体として、計算力学技術者資格の取得を推奨しています。また、他の資格試験と同様に、試験料と交通費を会社で負担しています。

これから計算力学技術者試験に挑戦される方へ、アドバイスをお願いします。

島村: 僕自身は実のところ、資格を取るよりもその「過程」が重要だと思っています。合格はゴールではありません。「自分は何のために挑戦するのか?」「そのために、どんなアプローチで何をすべきか?」という、受験を検討する時に誰もが考えることを大切にしたいと思います。

ありがとうございました! (取材日: 2008/1/23)